

2023年度のご報告

2023.4.1-2024.3.31

～集客エンタテインメント市場は、コロナ禍前を遥かに上回る規模に復調～
プロスポーツ、人気アーティスト、音楽フェス、
ドーム規模の大規模来日公演増などにより

**当期利益も
想定を上回る**

取扱高ベースでの売上は過去最高

累損の一掃と
復配に向けて

当初目標通りに達成
3ヶ年「中期経営計画」初年度は

“感動のライフライン”の構築を目指し



産業としての文化の育成を
「文化芸術・エンタテインメント・
スポーツで心豊かな暮らしと社会を」を
SDGsの18番目に



日本航空との新たな試み



JALの国際線&国内線でPIAアワード受賞作の機内上映がスタート

ぴあ選書ぶんまい 収録高座が2000本を突破



日本初! 民間企業単独でのアリーナ建設
ぴあアリーナMM「豊洲PIT」
「仙台PIT」に加えて
劇場の運営事業を本格化
2025年度竣工予定「東京駅前八重洲一丁目再開発事業」に新劇場

「遠いところ」
監督に決定
「大島渚賞」は



代表取締役社長
矢内 廣

ぴあを応援してくださる皆様へ

21世紀の “感動のライフライン”構築を目指して

集客エンタメ市場は、 コロナ禍前を遥かに凌ぐ規模に復調

皆様には平素よりご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。お陰さまで、当グループの当連結会計年度におきましては、前年度に引き続き2期連続の黒字を達成することができました。当社シンクタンクのぴあ総研の調査では、国内集客エンタメ市場はすでにコロナ禍前を遥かに上回る規模に復調しています。プロスポーツの盛り上がりや全国の音楽フェスの活況、ドームクラスの大規模な来日公演などが増えたこともあり、取扱高ベースでの売上は2,400億円規模に達し、過去最高の水準となりました。また、チケットングビジネスを核とした周辺事業も順調に推移し、営業利益は期初想定通り、当期利益は想定を上回る結果を残し、昨年発表した3ヶ年中期経営計画の初年度目標を達成しております。しかしながら、コロナ禍の打撃による多額の累損の解消までには至らず、大変遺憾ながら当期の配当も無配とさせていただかざるを得ない状況です。中期経営計画はこれから2年度目に入りますが、累損の一掃、そして計画期間中の復配の実現に向け、役員・従業員一丸となって目標の必達を目指してまいります。

基幹事業の拡大とともに、 新規事業の成長を期して

中期計画の達成に向け、基幹事業であるチケット流通、興行制

作、ぴあカード会員、アリーナ運営等の収益拡大と並行し、「デジタルメディア・データマーケティング事業」、「ホスピタリティ事業（高付加価値チケットの販売）」、「グローバル・イベント事業（万博等の国際領域での業務受託）」等、コロナ禍中に準備を進めてきた新規事業群への戦略的投資活動を強化しています。特に、予約も好調な「ぴあアリーナMM」、「豊洲PIT」、「仙台PIT」に続き、2025年には、再開が進む東京・八重洲に竣工予定の新劇場の共同運営も決まりました。当社グループの持つ多様なネットワークを活用し、演劇・ミュージカル・コンサート等を誘致する予定ですが、将来的には横浜・みなとみらいエリアや東京駅周辺エリアを、ブロードウェイやウエストエンドのようなショービジネスの観光拠点として、広く発展させることも目指しています。

また、いよいよ大阪・関西万博の開幕まで1年を切りました。当社ではチケットング業務を全面的に受託し、その販売から入退場管理までを一で行えるシステムを提供しています。昨年11月よりチケット販売も開始されましたが、今後は五輪やW杯等での受託ノウハウを活用しながら本番の開催に貢献してまいります。一方、昨年11月にリリースしたサブスクリプションサービス「ぴあ落語ざんまい」は、現在では2000本を超えるラインナップが揃いました。若手からベテランまで、実際の高座での実演映像が見放題となる業界最大のサービスですので、落語ファンの方ならずともぜひ一度お試しください。

経済性と趣旨性の両輪で進みます

「映画の新しい才能の発見と育成」をテーマに1977年にスタートした「ぴあフィルムフェスティバル(PFF)」のアワード受賞作が、今年5月より日本航空(JAL)の機内で上映されることとなりました。若手の新人監督たちにとっては、貴重な上映機会が増えることとなります。作品は定期的に入れ替わりますので、フライトの際はぜひお楽しみください。また、映画の未来を拓き、世界へと羽ばたこうとする若くて新しい才能に対して贈られる「大島渚賞」は、今年で第5回を迎え、『遠いところ』で注目を集めた工藤将亮監督に授与されました。今や、PFF出身のプロの映画監督は200名近くに達し、日本の映画界の持続的発展に寄与しています。

また、ぴあ総研では、日本で開催されている全ての興行データを正確に集計し、集客エンタメ市場の変遷を発表し続けています。今では、その分析や予測値が様々なメディアに取り上げられ、世の中の市況と、今後の行方を量る経済指標の一つとして高く評価されています。いずれも収益には直結しない活動ですが、経済性の追求と同時に、こうした趣旨性の体現も当グループの企業理念の核となっています。

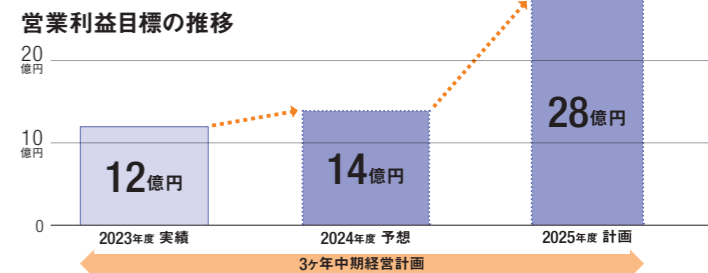
私たちは、過去の大震災やコロナ禍などを経て、エンタテインメントが人々を元気づけたり、勇気づけたりする場面を何度も目にしてきました。ぴあグループでは、エンタメは決して不要不急なものではなく、世の中や社会にとって不可欠な存在であることを示すために、SDGsの18番目の目標として、“Making Life and Society rich with Art, Culture, Entertainment and Sports.”(文化芸術・エンタテインメント・スポーツで、心豊かな暮らしと社会を)を提唱しています。ぴあ総研が5月に開催したシンポジウムでは、各界の識者にご参集賜り、SDGsの先をも見据え、集客エンタメがこれからの世の中の「真の豊かさ」の実現や地域活性化にどのように貢献できるか、そしてその価値

をいかに社会に実装するか、というテーマで熱い議論が交わされました。今後も、社業を生かした当グループならではの社会貢献を続けてまいりたいと思っております。

“感動のライフライン”の構築を目指して

エンタテインメントによる感動は、ひとりひとりが毎日を生きて暮らすための、いわば「酸素」のようなものと私たちは考えています。当グループでは、それらの作り手と受け手、生み出す側と楽しむ側を一気通貫に結ぶサービスを、“感動のライフライン”と呼んでいます。コンテンツの創出からプロモーション、チケット流通、ホール劇場の運営までを一手に担うとともに、文化や人材の育成、業界へのソリューション、地域の活性化等を通じ、集客エンタテインメント産業のサステナビリティ化に貢献してまいりたいと思っております。同時に人的資本経営にも注力し、生産性の向上や残業の削減はもとより、ぴあならではの働き方改革と環境の改善を進め、全社一丸となって企業価値の向上を図ってまいりますので、今後とも、皆様からの温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画(2023~2025年度)の骨子



2024年度は、基幹事業群のチケット流通、興行制作、会場事業、アリーナ運営事業等の収益基盤のさらなる強化を図り、チケット流通事業における取引条件の適正化を含む収益モデルの改善に努めます。加えて、現状取り組む各種新事業を着実に成長させ、コロナ禍で生じた累損の一掃、および2025年度中の復配の実現を目指します。

ぴあグループは中期経営計画の必達に向け、従業員のやりがいの向上やコミュニティの活性化、生産性の向上と働き方改革を軸に、人的資本経営の拡充にも注力しています。

2023年度の主な活動

■チケット流通事業 ■コンテンツ事業 ■ソリューション事業 ■会場事業 ■メディア&プロモーション事業 ■IR活動 ■社会貢献・CSR活動等

4月

- ぴあスポーツビジネスプログラム 第3期開講
- 「METROCK 2023」(大阪・東京)を主催
- ぴあ初の公式ホスピタリティチケット登場。ラグビーリーグワン決勝でホスピタリティプログラムを実施
- ぴあ総研シンポジウム「文化芸術・集客エンタメは、人々と社会をどう豊かにできるのか」開催

5月

- 第50回定時株主総会を開催。オンライン配信も実施
- 「POKÉMON COLORS YOKO HAMA」主催
- アジアを巡回中の「進撃の巨人展FINAL」、韓国・ソウルにて開催

6月

- 「2023神宮外苑花火大会」を主催
- 名古屋グランパスvs.アルビレックス新潟戦でホスピタリティプログラムを実施

7月

- 「第45回ぴあフィルムフェスティバル」を開催。アワード入選作はDOKUSO映画館に加え、U-NEXTでも配信
- 「ぴあフェス2023」(東京・若洲)を主催、マイナンバーカード実証実験を実施
- サステナビリティイベント「HAPPY EARTH FESTA 2023 YOKOHAMA」(横浜)を企画・運営

8月

- 「国立競技場Enjoyリレーマラソンsupported byぴあ」開催
- 「ラリージャパン」のチケットング、ホスピタリティプログラムを実施
- 「ぴあMOOK『機動戦士ガンダム SEED キラヤマトぴあ』重版

9月

- 「第45回大島渚賞」発表
- 「マサラーフェス」(横浜)を主催、マイナンバーカード実証実験を実施
- 「第26回PFFスカラシップ作品「すべての夜を思いだす」劇場公開

10月

- 「Music Bank Global Festival 2023」(埼玉・ベルーナドーム)を主催
- 「Music Bank Global Festival 2023」(埼玉・ベルーナドーム)を主催
- 「2023 MUSIC BANK GLOBAL FESTIVAL」開催
- 「ぴあMOOK『PMC SPECIAL EDITION 3 Mrs. GREEN APPLE』4刷実施

11月

- 「ピクジー」サービス開始
- 「2023 Picky (ピクジー)」サービス開始
- 「ピクジー」サービス開始
- 「ピクジー」サービス開始

12月

- 「ピクジー」サービス開始
- 「ピクジー」サービス開始
- 「ピクジー」サービス開始
- 「ピクジー」サービス開始

1月

- 「ピクジー」サービス開始
- 「ピクジー」サービス開始
- 「ピクジー」サービス開始
- 「ピクジー」サービス開始

2月

- 「ピクジー」サービス開始
- 「ピクジー」サービス開始
- 「ピクジー」サービス開始
- 「ピクジー」サービス開始

3月

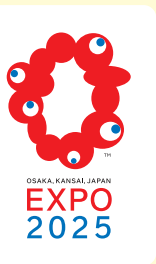
- 「ピクジー」サービス開始
- 「ピクジー」サービス開始
- 「ピクジー」サービス開始
- 「ピクジー」サービス開始

ソリューションビジネスと、地域活性化事業の拡大

当社がチケットング業務を全面的にお手伝いしている大阪・関西万博をはじめ、びあグループでは全国のスポーツチームや団体、劇場やテレビ局、国際的なスポーツ大会などのチケットング業務を包括的に受託しています。また、スタジアムのある地域の活性化を目的としたサッカー観戦&観光の情報アプリ「ユニタビ」を提供したり、「The 絶景花火 Mt.Fuji」、「大相撲仙台場所」など、地域と連携した多様なイベントの企画・主催に携わるなど、エンタメによる街の魅力の発信にも貢献しています。



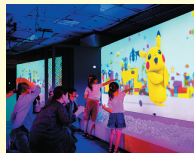
The絶景花火実行委員会



©Expo 2025

自社アリーナ・ホール運営の拡大と、街づくり

日本初の民間企業単独での大規模アリーナ「びあアリーナMM」は、おかげさまで過去最高の稼働率となり、週末は1年半先まで予約が埋まるなど、厚いご支持をいただいています。また、「東京駅前八重洲一丁目再開発事業」で2025年度に竣工予定の新劇場・カンファレンス施設の運営に参画します。びあグループは「びあアリーナMM」や「豊洲PIT」「仙台PIT」等の運営を通じて培ったノウハウを生かし、集客エンタテインメント市場の拡大に貢献しながら、三菱地所との合弁会社による協業イベントを各地で開催するなど、エンタメを通じた街づくりにも継続的に取り組んでいます。



POKÉMON COLORS YOKOHAMA



ふわふわシナモロール展FINAL (東京・丸の内)

©Pokémon, ©Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK Inc. ポケémon、Pokémon、シナモロール、シナモロールは任天堂・クリエーターズ・ゲームフリークの登録商標です。

ホスピタリティサービスへの本格的進出と、グローバルへの事業展開

すでに米欧で普及している「ホスピタリティプログラム」の世界市場は、2028年には現在の3倍となる約3兆円まで伸長する見込みです。びあグループではサッカーの国際戦やジャパンオープンテニス、ジャパンラグビーリーグワン、みなとみらい花火鑑賞クルーズなど、様々なイベントにおいて高付加価値を体験するパッケージを企画・販売し、実績を重ねてきました。今後も当プログラムを通じ、お客様の感動体験の価値を高めるとともに、集客エンタメ市場の拡大を図ります。



また、大人気のタイ俳優のファンイベントや、K-POPアーティストによる大規模なフェスなど、人気アジアコンテンツを日本に招聘したイベントの主催や制作を行うほか、びあグローバルエンタテインメント(PGE)を中心に、「NARUTO THE GALLERY (シンガポール)」、「進撃の巨人展FINAL (マレーシア)」、「鋼の錬金術師展 (香港)」など、海外から注目が集まる日本の人気コンテンツをアジア各国に輸出する事業も展開しています。



イベント主催・出資事業の多角化

音楽フェス、人気演劇公演、海外チームを招聘したスポーツイベントなど良質なコンテンツを生み出しています。

[これから開催予定のびあ主催・出資イベント]



PIA MUSIC COMPLEX 2024 (びあフェス)
2024/11/9(土)・10(日)
●横浜・びあアリーナMM



ブロードウェイ・ミュージカル「天使にラブ・ソングを… (シスター・アクト)」
2024/7/3(水)～21(日)
●東京・東急シアターオーブ



EUROJAPAN CUP 2024
2024/7/24(水)
●大阪・ヤanmarスタジアム長居



原作45周年記念「キン肉マン」愛と絆の原画展
2024/8/10(土)～25(日)
●東京・サンシャインシティ 展示ホールC

コンテンツ創造事業の推進

新たな切り口や異業種アライアンスにより、ソフトコンテンツの多角化に取り組んでいます。

企業やテレビ番組と連動したコラボ本も。デニーズ50周年記念のファンブックや、沖縄書店大賞準大賞を受賞した沖縄テレビのグルメ番組公式ガイドブックが好評。



Denny'sびあ2024 50周年記念ファンブック

アゲアゲめしAWARD 公式ガイドブック



ジェイソン流 お金の稼ぎ方

エンタメジャンルに強いびあならではの視点で刊行した書籍では、ロングセラーが増えています。70万部*を記録したベストセラー「ジェイソン流お金の増やし方」に続く待望の第二弾の本書も好評です。



不可能を可能にする 大谷翔平の礎 ここにあり!

びあMUSIC COMPLEX (PMC) SPECIAL EDITION 3 Mrs. GREEN APPLE

*電子書籍を含む



首都圏版

本シリーズは全国10エリアで展開。首都圏版の8刷を筆頭に、全タイトルが増刷を重ねて大好評です。

森のカフェと緑のレストランシリーズ

静岡版 / 仙台版 / 千葉版 / 神奈川版 / 札幌版も絶賛重版中!



埼玉版



福岡版



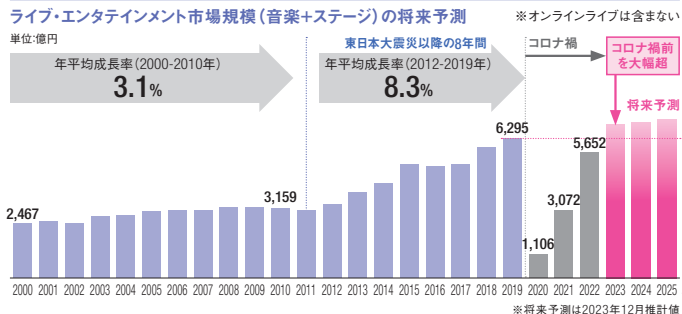
関西版



東海版

産業としての文化の育成～ぴあ総研による市場予測

ぴあ総研は2000年より、日本で唯一のライブ・エンタメ市場全体をとらえる統計調査を実施しています。2023年は、大規模ライブ会場の増加およびチケット平均単価の上昇に牽引され、コロナ禍前の水準を大幅に上回る勢いで市場が回復しました。働き手不足などの問題もはらみながらも、ライブ・エンタメ市場は今後も継続的に成長と拡大を続けるものと想定しています。



2022年より「集客エンタメ産業の未来に向けた、社会的意義と本質的価値」について提言するシンポジウムも開催しています。3年目となる今年、これまで議論してきた本質的な意義や価値を「いかに社会に実装するか」に焦点を当て、集客エンタメ産業を核とした地域におけるエコシステムの形成の可能性が模索されました。基調講演には岡田武史氏((株)今治・夢スポーツ 代表取締役会長)、第2部のゲストスピーカーには山中春氏(横浜市長)、パネルディスカッションには野田秀樹氏(劇作家・演出家・役者)、亀田誠治氏(音楽プロデューサー・ベジスト)、杉浦久弘氏((独)日本芸術文化振興会 理事長代理)、小川理子氏(パナソニック ホールディングス(株) 参与・ジャズピアニスト)が登場。集客エンタメ産業がこれからの世の中の「真の豊かさ」の実現にどのように貢献できるかという問いかけに対し、多くの熱い見解が語られました。



ぴあグループでは、世界の多様な「文化芸術」の共存・共生こそが、サステナビリティの根源をなすという考えに基づき、SDGs18番目の目標として、“Making Life and Society rich with Art, Culture, Entertainment and Sports.”(文化芸術・エンタテインメント・スポーツで、心豊かな暮らしと社会を)を提言しております。

アーティストの発掘とリスペクト／人的資本経営への取り組み

映画の新しい才能の発見、育成、そして飛躍を

第45回を迎えた、映画の新しい才能の発見と育成をテーマにした「ぴあフィルムフェスティバル(PFF)」では、557本の応募作から中野晃太監督の「リテイク」がPFFアワードのグランプリに選ばれ、その後「北京国際映画祭」にも招待され高く評価されました。また、本作を含めたPFFアワード受賞作品が日本航空(JAL)の機内で上映されるなど、新たな才能の発信の場の創出にも取り組んでいます。加えて、PFFが制作から劇場公開までをプロデュースする「PFFスカラシップ」では、第26回作品「すべての夜を思いだす」(清原惟監督)が封切られ、全国各地で上映が始まっています。一方、映画の未来を拓き、世界へ羽ばたこうとする、若くて新しい才能に対して贈られる「大島渚賞」も第5回目を数え、17歳の母の過酷な日常をリアルに描いた作品「遠いところ」の工藤将亮監督が受賞しました。



第45回ぴあフィルムフェスティバル「PFFアワード2023」表彰式



第5回大島渚賞を受賞した工藤将亮監督

落語文化を未来へつなぐ「ぴあ落語ざんまい」

約200名の落語家による、2,000本以上の高座映像がスマホやパソコンで楽しめるサブスクリプションサービス「ぴあ落語ざんまい」を昨年末より開始しました。伝統芸能の持続可能な環境の維持、若い世代の落語家たちの活躍推進をも目的とした新たな取り組みです。

登録はこちらから➡



人的資本経営への新たな施策

人事制度改革により、一般職正社員制度を導入し、契約社員約40名を正社員に登用しました。また、従業員の生活を豊かにしたいという経営層の想いから、平均給与は9%アップし、従業員のエンタメ鑑賞や社内の公認クラブ活動に対する補助金の支給も始めました。ぴあならではの働き方改革を進めながら社員の士気を一層高め、全社一丸となってコロナ禍で生じた累損の解消、および復配を目指します。



ぴあの決算ハイライト

[単位:百万円]	2022年度	2023年度	2024年度(予想)
売上高	32,763	39,587	40,000
取扱高※	199,142	241,324	245,000
営業利益	820	1,209	1,400
経常利益	600	922	1,300
当期利益	1,415	1,118	800
1株当たりの配当金	0円	0円	-

※取扱高:旧会計基準の売上高であり、東証に開示している数値ではありません

当社グループの連結業績は、プロスポーツジャンルの観客増や人気アーティストの全国ツアー、音楽フェスの活況、ドーム規模の大規模来日公演増等により、取扱ベースでの売上高は2,400億円規模となり、過去最高の水準となりました。加えて、主催イベントやメディアコンテンツ商品の多角化、「ぴあアリーナMM」稼働率の向上、ぴあカード会員の増加等、チケットビジネスを核とした周辺事業も順調に推移し、営業利益は期初想定通り、当期利益は想定を上回る結果となりました。また中期経営計画に沿い、新規事業群への戦略的投資活動を強化し、同時に正社員の登用・中途社員の採用や、従業員の給与アップ・待遇改善・福利厚生の実質化といった、人的資本経営への取り組みへも注力してまいりました。

当社財務情報はホームページでもご覧いただけます。 <https://corporate.pia.jp/ir/>

会社情報 (2024年3月31日現在)

会社概要

商号	ぴあ株式会社 (PIA Corporation)
本店所在地	東京都渋谷区東1-2-20 渋谷ファーストタワー
設立	1974年12月
資本金	6,444百万円
社員数 (連結)	448名

事業内容

音楽・スポーツ・演劇・映画・各種イベント等のチケット販売、コンサートやイベントの企画・制作・運営、スポーツ団体・劇団・ホールなどへの各種ソリューションサービスの提供、ぴあアリーナMMなどホール・劇場の企画・運営、エンターテインメント・レジャー領域を中心としたネットメディアや出版物の企画・編集など、エンターテインメント全般に付随する各種事業

役員

代表取締役社長	矢内 廣
取締役副社長	木本 敬巳
専務取締役	吉澤 保幸
常務取締役	村上 元春
取締役	小林 寛
取締役	東出 隆幸
取締役	川端 俊宏
取締役 (社外)	宮本 暢子
取締役 (社外)	一條 和生
取締役 (社外)	石田 宏樹
取締役 (社外)	村井 満
取締役 (社外)	佐藤 則之
取締役 (社外)	寺田 美穂
常勤監査役 (社外)	能勢 正幸
監査役 (社外)	松田 政行
監査役 (社外)	糸谷 祥輝

(※役員構成は第51回定時株主総会決議後の6月22日時点の情報を掲載しています。)

主要グループ会社

チケットぴあ名古屋株式会社
チケットぴあ九州株式会社
ぴあ総合研究所株式会社
ぴあグローバルエンタテインメント株式会社
ぴあフィールドサービス株式会社
株式会社東京音協
MECぴあクリエイティブ株式会社
ぴあ朝日ネクストスコープ株式会社
PIA DAIMANI Hospitality Experience株式会社

株式の状況

発行済株式総数	15,641,413株
株主数	27,849名

主な株主

株主名	持株比率 (%)
矢内 廣	19.50
株式会社セブン&アイ・ホールディングス	9.01
KDDI株式会社	8.95
TOPPAN株式会社	6.95
きらぼしキャピタル東京 Sparkle 投資事業有限責任組合	5.22
株式会社セブン&アイ・ネットメディア	4.51
株式会社セブン・イレブン・ジャパン	4.51
三菱地所株式会社	4.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3.41
株式会社日本カストディ銀行 (信託E口)	2.09
矢内アセットマネジメント株式会社	1.28

株式メモ

上場取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	4337
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
配当受領株主確定日	毎年3月31日 (中間配当を実施するときの株主確定日は、9月30日です)
公告方法	電子公告 (URL) https://corporate.pia.jp/ir/ (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞にて行います)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	TEL.0120-782-031
インターネットホームページ	https://www.smbt.jp/personal/agency/index.html

株主優待のご案内

株主優待制度について

2024年3月31日現在の株主の皆様に対し、以下の通り株主優待を実施しています。

1. 優待品目

① オリジナル図書カード、オリジナルシネマギフトカード、新たに加わった令和6年能登半島地震災害義援金から、下記優待金額 (年2,500~11,000円) の範囲内で自由に組み合わせて事前にお選びいただけます。



② アプリ

[有料コンテンツの利用]

年6,000円分

2024年3月31日時点で2期継続、100株以上を保有していただいている株主の皆様は、通常年間6,000円がかかる「ぴあ」(アプリ)の有料コンテンツを1年間無償でご利用いただけます。詳しくは、対象となる株主様に別途送付されるお知らせをご覧ください。

2. 優待区分

保有期間 保有株式数	2期末未満 (1年未満) 保有	2期以上 (1年超) 継続保有	
	優待	優待	アプリ
1,000株以上	5,500円分	11,000円分	年6,000円分
100株以上	2,500円分	5,000円分	年6,000円分

「ぴあ」(アプリ)、サービスや特典をさらに拡充!

情報誌「ぴあ」の流れをくみ、エンタメとの「偶然の出会いと発見」を提供する「ぴあ」(アプリ)は5年半で185万ダウンロードを突破、WEB版も展開しています。株主様にもお楽しみいただける有料会員向けの特典・サービスも拡充いたしました。「パーソナライズ」をテーマに、今後もエンタメファンの方々へいち早く最新情報をお届けしながら、エンタメとの出会いのきっかけとなる企画やコンテンツの強化を図ってまいります。



「ぴっけろくまっぴー募金 (義援金チケット発売)」のお知らせ

令和6年能登半島地震において被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。ぴあグループでは、東日本大震災の心の復興支援活動「チームスマイル」を通じて、ライフラインの復旧とともに、文化芸術・エンタテインメントやスポーツによる「心の復興支援」の重要性を体感してまいりました。こうした活動にご賛同いただける皆様に向けて、義援金チケットを販売しています。義援金チケットにはシステム利用料や手数料は課金されず、チケットの発券も不要です。チケットをご購入いただいた皆様からの募金は当社が預かりしてとりまとめ、義援金としてその全額を「芸術・文化による災害復興支援ファンド」(企業メセナ協議会主管)に寄付させていただきます。エンタテインメントを愛する皆様のご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

